
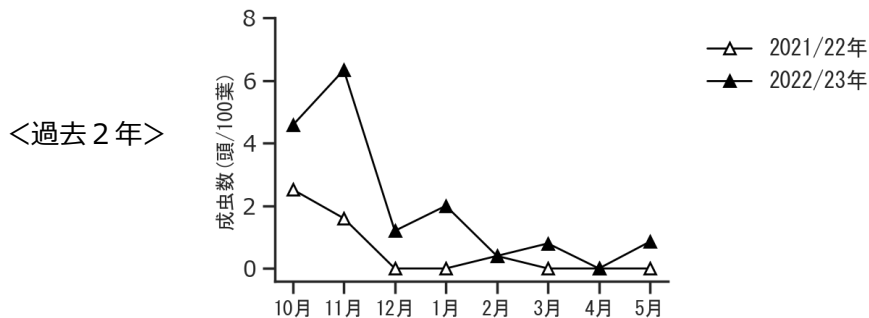
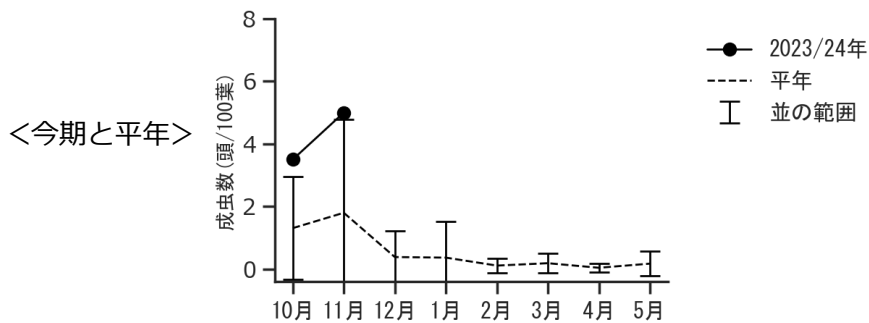


|       |                |               |    |   |
|-------|----------------|---------------|----|---|
| 作物    | ピーマン(施設)       |               | 地域 | 沖縄群島  |
| 病害虫名  | ① ミナミキイロアザミウマ  |               |    |  <p>成虫</p> |
| 調査結果  | 11 月の発生量 (平年比) | やや多           |    |   |
| 予報    | 11 月からの増減傾向    | ↓             |    |   |
|       | 12 月の発生量 (平年比) | やや多           |    |   |
| 予報の根拠 |                | 平年の発生量の推移 (↓) |    |   |

調査結果

成虫数の推移




・発生施設率100% (平年：17.6%)

防除のポイント

- ・本種はスイカ灰白色斑紋ウイルス等を媒介する。
- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・繁殖力が高く多発すると防除が困難になるため、青色粘着板等を用い早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・天敵を利用している施設では、天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を選定する。

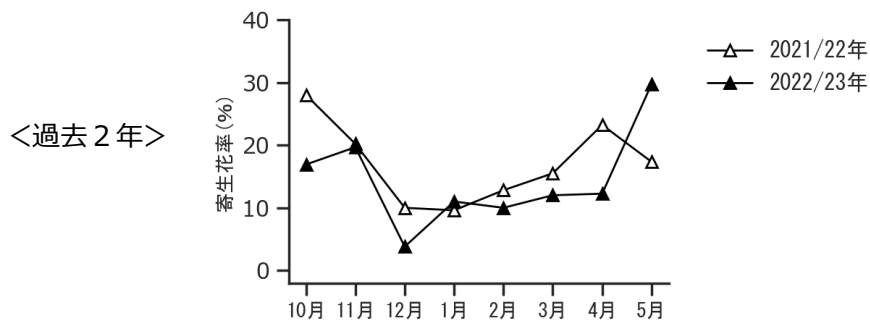
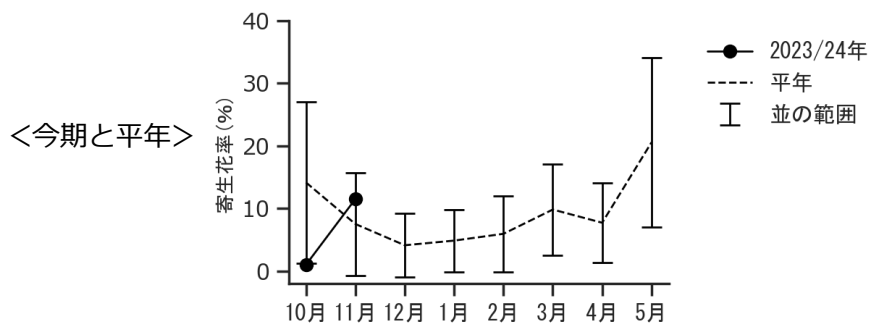


被害葉

|       |                |               |    |   |
|-------|----------------|---------------|----|---|
| 作物    | ピーマン(施設)       |               | 地域 | 沖縄群島  |
| 病害虫名  | ② ヒラズハナアザミウマ   |               |    |  |
| 調査結果  | 11 月の発生量 (平年比) | 並             |    |   |
| 予報    | 11 月からの増減傾向    | ↘             |    |   |
|       | 12 月の発生量 (平年比) | 並             |    |   |
| 予報の根拠 |                | 平年の発生量の推移 (↓) |    |   |

調査結果


寄生花率の推移



・発生施設率50.0% (平年 : 38.7%)

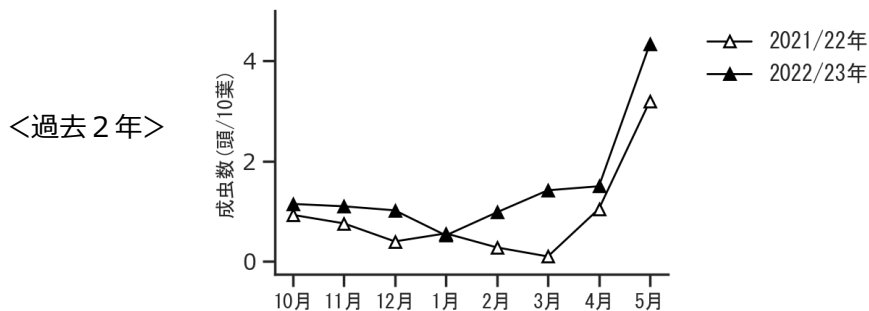
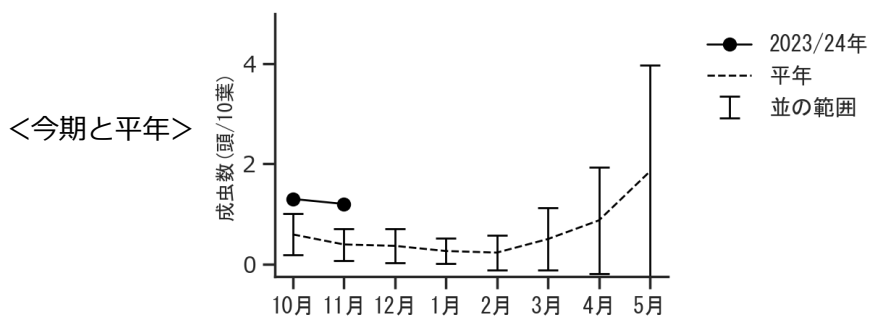
防除のポイント

- ・主に花に寄生し、多発すると産卵により果実ヘタ部や果梗部が黒変する。
- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・繁殖力が高く多発すると防除が困難になるため、初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・天敵を利用している施設では、天敵に影響の少ない薬剤を選定する。

|       |                |               |    |   |
|-------|----------------|---------------|----|---|
| 作物    | ピーマン(施設)       |               | 地域 | 沖縄群島  |
| 病害虫名  | ③ タバココナジラミ     |               |    |  <p>成虫</p> |
| 調査結果  | 11 月の発生量 (平年比) | やや多           |    |   |
| 予報    | 11 月からの増減傾向    | →             |    |   |
|       | 12 月の発生量 (平年比) | やや多           |    |   |
| 予報の根拠 |                | 平年の発生量の推移 (→) |    |   |

調査結果

成虫数の推移



・発生施設率100% (平年 : 49.0%)

防除のポイント

- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窗は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・多発するとすす病を引き起こすため、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・天敵を利用している施設では、天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を選定する。



幼虫